

道徳便り

鹿島小学校 No.3

令和4年9月22日

9月12日には、6年2組での研究授業が行われました。授業の様子をお知らせします。

○教材名「最後のひと葉」 ○価値項目「親切、思いやり」

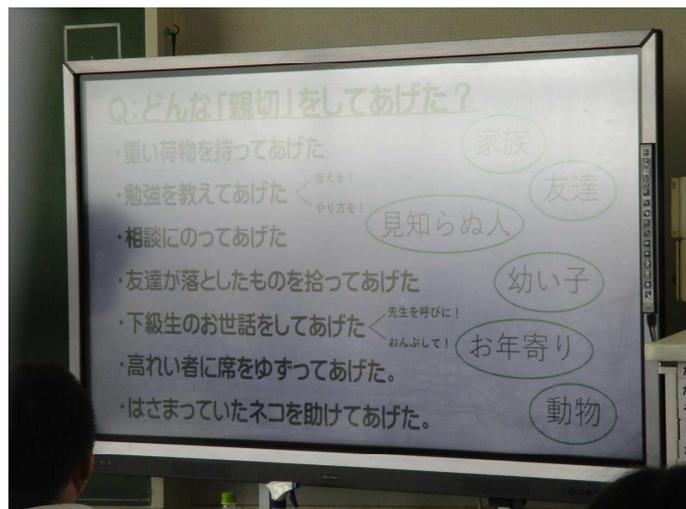
○授業の概略

スウとジョンシーという絵描きがアパートの一室に住んでいた。ジョンシーは、病気で生きる気力をなくしている。スウは、ベアマンという60歳を超えた絵描きにモデルになってもらうために部屋に呼ぶ。ジョンシーは、窓から見える壁につたっているつたの葉が落ちてしまったら自分の命もなくなるだろうと思っている。このことを知ったベアマンは、ジョンシーのために北風が吹き、雨が降りしきる夜に、壁につたの葉をかくが、肺炎のためになくなってしまいう話である。

ジョンシーを励まし助けるために、「スウ」「ベアマン」だったら、どうするかについて考えて、相手を思う親切をしていこうとする心情を育てる授業です。

○授業を振り返って

「どんな親切をしてあげた？」というアンケート結果を電子黒板で見ることから、授業が始まりました。たくさんの方の親切をしていることを確認し、今日の問いは、「『相手を思う親切』とは何だろう。」として、問題解決学習が始まりました。



【電子黒板によるアンケート結果の提示】

今回は、スウとベアマンの立場だったらどうするかについて、まず一人で考えました。次に、4人グループで話し合いました。友達の考えを聞き合うことで、共感したり、自分の考えとの違いに気付いたりすることができました。話し合いの後には、考えが変わった児童もいたことから、意見の聞き合うことのよさをみることができました。

～学習の感想より～

- ・最初はジョンシーが助かれば良いと思っていたけれど、ジョンシーだけが助かって他の人が助からないかもしれないから、一人だけでなく、みんなのことを考えて行動しようと思いました。
- ・親切をするときの喜んでほしいという気持ちは変わらないが、親切の仕方でも相手の感じ方が変わるから、後先のことを考えて行動しようと思った。
- ・これからの自分にできるのは、周りの人がどう思うか、この先この行動をしたらどうなるかを考えて、自分にも相手にも良いと思える行動をしたい。

以上のような感想があり、今後、相手を思う親切をしていこうとする心情が高まっていたようです。

今後、他教科と関連させながら指導を続けていきます。



司会の児童を中心に自分の考えを積極的に話しています。



